

小豆島オリーブトップワンプロジェクトの新たな展開に向けて

目標

- ①歴史あるオリーブ産地を守り育てる
- ②「小豆島」のブランド力を高める

研究開発

人財育成

品質の差別化

イメージ戦略

4本柱に沿って各種事業を展開

第Ⅰ期3カ年戦略(H23～H25)

第Ⅱ期3カ年戦略(H26～H28)

成果

栽培面積:H22 110ha → H27 140ha
収穫量 :H22 150t → H27 348t
※28年度は現在調査中

新たな課題

- ・炭疽病発生等による収穫量の減少
 - ・栽培面積拡大の鈍化
- **栽培の原点回帰**が必要

平成29年度の主な取組

第Ⅲ期3カ年戦略の策定

→ オリーブトップワンプロジェクト会議を開催し、香川県など全ての関係機関と連携して、平成29年夏を目途

第Ⅲ期3カ年戦略の事業について検証・研究

- これまでの事業の検証
- 他産地の栽培地現状調査・研究
- 町内のオリーブオイル普及率の調査・検証

オリーブ栽培に対する課題検討・調査・研究

- 地区ごとに栽培園地の土壌分析を実施

原点に立ち返った栽培

モデルオリーブ栽培園地の設置・検証

- 基本栽培を忠実にを行った場合の病害との関係について検証
- 栽培指導者の人材育成を実施

オリーブ農家の現状調査

- なぜ、炭疽病が猛威を振るったのか、現場の声を聴取(集約)

栽培技術の向上

- 講習会の開催(基本栽培の徹底),指導者の育成

平和・健康など普遍的な魅力の向上

- ・オリーブ植栽110周年オリーブサミット準備活動
- ・東京オリンピック・パラリンピックでのオリーブ冠贈呈要望活動
- ・オリーブを用いた健康長寿の島づくり事業の継続実施
- ・環境にやさしいオリーブ栽培の推進